

令和4年度2学終業式（高校）

本日で2学期が終わります。振り返ってみますと、皆さん、それぞれに反省点があるかもしれませんが、私からするといくつかの大きな学びがあったのではないかと思います。

まずは、3年ぶりに行った文化祭での皆さんの姿です。本当に生き活きとしていました。とても良い笑顔がたくさん見られました。仲間と一緒に一つのことに向かって頑張ることの喜びを改めて感じてくれたことと思います。私としては、皆さんの健康と安全が保証されれば、学校全体で大いに盛り上がることを常に考えていますが、多くの人たちに「実施してくれてありがとうございます」と感謝されました。そのことが喜びの大きさを表していたと思います。これからも、仲間と共に一つのことに向かって頑張っていきましょう。

次ですが、まず1通の手紙を読みます。「栃木駅で、ある学生さんが具合が悪くなってしまい、國栃の生徒さんが助けを求められたのですが、すぐに言われた通りバッグから薬と水を出してやり、駅員さんと呼んでくれたのです。小さなことかもしれませんが、実は大変凄いことであり、勇気も要ったと思います。ぜひ人助けをしたことを褒めてもらいたいです」。

「人のために」ということを私はよく話してきましたが、特に国体におけるなぎなたやハンドボールの会場では、「國栃の生徒たちは真面目によく働いてくれる。信頼がおける」と私は関係者からお褒めの言葉をたくさんいただきました。また、栃木市の秋祭りでは、主に山車を引っ張るボランティアとして、ラグビー部、野球部、そして一般の生徒諸君、2日間、それぞれ約100人が参加してくれました。私もその現場に行きましたが、本当に市民の方々が喜んでくれ、そこでも多くの方々から声をかけてもらいました。地域貢献とかいいうか市民の方たちと触れ合いことができたことは素晴らしいことです。

ある方の手紙では、「私の息子をずっと面倒を見て下さり、ありがとうございました。皆様が息子と一緒に過ごして下さり、お世話をして下さったお陰で私はお囃子に集中できました。息子も後でお兄さんたちと遊んで楽しかったと嬉しそうに話してくれました。幼い男の子の相手はとても大変だったと思いますが、本当にありがとうございました」。

「人のために」という姿勢が、人々を幸せにし、自分も幸せになるものです。この考えを持って生きていくと悩みも薄らぐのではないのでしょうか。

もう一つです。やはり「最後まで諦めない」。昨年度のラグビー部といい、野球部といい、明らかに不利な状況を逆転させています。それは2学期も続いていて、国体の時のラグビー部、後半ロスタイムで逆転して選抜優勝校を1点差で破ったり、なぎなたも未だかつてない成績、野球も強豪校に逆転勝ち、いずれも全国3位になっています。このように諦めずに向かえば、奇跡と思えることが起きることを私たちは改めて知りました。大学受験の推薦入試で

も、難関校に敢えて挑戦し、合格を勝ち取った人も何人もいます。

「皆と一緒に一つのことに向かって頑張る」、「人のためという姿勢」、「最後まで諦めない」という姿勢を共有し、國學院栃木皆さんの財産にしましょう。

現在、3者面談で生活面や学習面のことを話していると思いますが、特に受験を控えている人たちは、「最後まで諦めない」姿勢を持ち、周りには仲間がいます。よく受験は団体戦と言われますが、「皆と一緒に合格という目標に向かって頑張っていることの喜び」を感じながら、力強く向かっていってほしいと思います。特に1, 2年生はこれからの姿勢や努力次第でどのようにでも変わっていける、その可能性を持っていることを信じてほしいと思います。